

藤田浩明氏文書概要

- 1: 文書群番号 097104-1
- 2: 文書群名 藤田浩明氏文書（浜国民学校関係文書ほか、藤田寛治氏・浩明氏収集文書）
- 3: 出所 藤田浩明家
- 4: 家業・役職等 浜国民学校長／杭瀬小学校長ほか
- 5: 地名
1. 尼崎市浜
2. 兵庫県氷上郡竹田村・吉見村・前山村・美和村／氷上郡市島町
3. 尼崎市
4. 兵庫県川辺郡園田村富田／尼崎市富田／尼崎市東園田町
- 6: 行政区分
1. 尼崎市
2. 兵庫県氷上郡竹田村・吉見村・前山村・美和村／氷上郡市島町
3. 尼崎市
4. 園田村／尼崎市
- 7: 歴史
藤田浩明氏の義父、藤田寛治（かんじ）氏は、大正期から昭和戦前・戦中期にかけて、現尼崎・伊丹・川西市域の小学校教員を務め、昭和20年（1945）には尼崎市立浜国民学校校長を務めた。
浜国民学校は、昭和16年4月1日に浜尋常小学校（昭和15年2月11日開校）が改称して成立した。戦況の悪化にともない、同19年9月に、3年生以上の児童が兵庫県氷上郡竹田村・吉見村・前山村・美和村（現氷上郡市島町）へ、同20年4月には縁故疎開者をのぞく全学年児童が同地へ集団疎開した。同校は同年6月15日の空襲により校舎が全焼、同年11月30日に廃校となり、児童は下坂部・杭瀬両国民学校へ割り振られた。浜国民学校長であった藤田寛治氏は、杭瀬国民学校長に就任し、同27年3月杭瀬小学校を定年退職された。
藤田家は近世より富田村（現尼崎市東園田町1丁目）に居住。藤田浩明氏は元尼崎市職員・助役。
- 8: 伝来
藤田浩明氏より、阪神・淡路大震災で被災した自宅の修築を機会に、義父藤田寛治氏収集史料を寄贈したい旨申入れあり。平成10年（1998）8月、藤田氏より寄贈。
- 9: 史料入手先 藤田浩明氏（原蔵者）
- 10: 点数 246点（目録件数219件）
- 11: 年代 近世～昭和42年（1967）
- 12: 構造と内容
本文書群は、①浜国民学校関係文書をはじめとする藤田寛治氏収集学校関係史料、②浩明氏の尼崎市役所勤務時の文書、③藤田寛治氏収集地形図及び藤田家の私的文書からなる。
①のうち浜国民学校関係文書は、昭和20年（1945）6月15日の空襲で炎上した学校から、当時校長であった寛治氏が救出し、自宅に保管されていたもので、「集団疎開に関する文書綴」や「町内会別疎開児童名簿」など、学童集団疎開に関する史料や戦前期学校教育の史料91点が比較的まとまった形で残されている。②は浩明氏が勤務時（昭和30年代後半）に作成した個人用ファイルなど7点、③は寛治氏が収集した日本各地の地形図（101点）など150点。近世の文書は、襖の下張りであった手習い手本1点のみ。
- 13: 関連史料 浜国民学校疎開関係手紙類
- 14: 閲覧条件 原本

15: 作成者

坂江 愛